

刊夕日一十二月八

常警毎日新聞

定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 廣告刊五拾五圓 電話一五五五
 日曜日の日休 日休
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社

獨逸から郷里へ

警女出身 本多サノ

ヴルストガルテン

宮殿の直下ハーフエル河岸に沿ふヴルストガルテンと云ふ廣場を以つた公園がある。この廣場の周圍には

ナポレオン戦争時代の勇士の像が建て、ある。プロシヤ軍隊の搖籃である「ランゲケール」(大男許りを集めた軍隊)の練兵場がこの廣場で、大王が傘下軍隊の大男達を見上げながら満足氣に閱兵した跡が忍ばれる。

ヴダルニゼン教會

シユタットシユロスを見て静かな街の古い石疊の道を行くと右手に高い時計塔のある寺院に來る。ボツダムに於て最も有名な教會堂でフリードリッヒ大王と父一

ノート

煙草に含まれてゐるニコチンはジエンニコットといふ佛人が約四百五十年前に發見その名を冠して命名された

世の廟がある、又ナポレオン時代フリードリッヒウヰルヘルム三世と露國皇帝アレキサンダー一世が一八〇

五年こゝに於て兩國友誼同盟と締結した所と云ふ。前に云つた様にフリードリッヒ時代を獨逸人は第一帝國と云つて(今は第三帝國とナチは自ら云つてゐる)獨逸のややかしい勃興時代として憶れてゐるの

此の教會堂は國家の大儀式によく用ひられる。現總統ヒットラーが一年ナチスを率い、故ヒンデンブルグの許に初めて天下をとつた際に獨裁權を委任せられた...の如要求したのか判らないが。儀式は罷々老大統領をベルリンから古くさいこの教會堂まで引つばつてゆき行つたと云ふのを見て歴史の意味の深い事がわかるだろう。

時計塔上の大小數十ヶの鐘は十五分毎に美しい音樂を奏する様に出來てゐる、之を鐘の音樂(グロゲンスピール)と云ふ。これは至る所で聞かれるがこゝのは特に有名なもの、一つである。

この寺院から綠蔭に眠る様な堀を渡り、突き當つて右折すると廣場に出る。此の中央にブランデンブルグの中央と云ふ伯林ウヰンターデンリンデンの城門と同名の凱旋門がある。ローマのコンスタン帝凱旋門を真

似たものだと云ふが、直その豪快な結構を見た眼にはほとんど問題にならない。サンスーシー公園の入口はこゝから放射する道路の一つ。折柄の晩春の日曜日では老若男女が三三五五閉られた門扉の脇門を潜つてゆく門を入ると兩側は美しく伸た大木の並木が美事に手入がとどいて、緑の壁を

【朝】味噌汁 馬鈴薯 小付 やきのり
 【書】から煮 いんげん
 【晚】冷奴 花かつを 片肉すきやき

張つた様、仰げば一條の碧空が流れてゐるばかりだ。一寸比類のない美しい並木路である。このアレーは直角に曲つて其の突き當りの處に大噴水がある、高さ三十六米に噴出する相だが水量も多く美しいと云ふよりも快絶と呼びたい、噴水の周圍には十二ヶのギリシャの神像があるが、これは佛國彫刻家の作で一部はルイ十五世が贈つたものだといふ。この噴水を前にして六段に分れたテラス(石段)が高さ二十米の丘上サンスーシー雜宮の眞正面に達してゐる。

店主が店員	を連れて行	かれる	正シイ	正シイ	正シイ
		食堂	酒場	喫茶	

平・田町 電話三五二番
レストサロン

平町・田町 電話六九一番
山内醫院

平町・田町 電話五五九番
井坂醫院

夏物 (夏物のお買時)

- 子供服 家庭服
- パラソル 日傘
- ネクタイ
- 縮シヤツ

大見切特賣

大黒屋 平三 電話二一六

廿三夜様特賣
 帯 止 八 錢
 大判の縮シヤツ 三十 錢
 其他の特賣品 豊 富

増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。大型貸切専門車も御座います。

尼子タクシー 電話六四〇

株式賣買
 合資三共商事 大町 電話三〇番

石炭一〇〇パーセント

サーヴキス

時節柄 値下げ!
 ダンゼン

一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢
 特塊同 金參拾五錢
 品質が優良 デナケレバ 値段バカリ安クトモ結局目方か正確
 ◎市内は一俵より配達致します
 電話三七番
 阿部石炭商店

地下採掘の可否 (五)

野崎満藏君に與ふ

川崎 文治

野崎尊兄

予等は、九州方面炭礦地調査に依る收獲たる委員會の報告を拜見した。その報告は、鑛山監督局内示の調査に對する態度を、決定的に指導する多くの示唆を含むものたるべきであつたから。

委員會の町會に提出した報告書は可成りに膨大なものであつた。然もその内容は、實際狀況、學說、參考意見及び文献等の悉くを網羅し、短日月にしてよく斯く迄の材料を蒐集し得たりとして、その熱誠と努力に對し、充分感服に價するものであつた。

一、中村新太郎博士が壯時農商務省技師として平町の舊城跡附近を調査せる際、頗る錯綜せる斷層が幾本も伏在するを檢出し、且つ商工省地質調査所の渡邊技師の實際踏査は谷川瀨地内に大斷層のあるを確認して居る。而して磐炭出願の地下採掘の影響が是等の斷層に勾配的の刺撃となつて波及するの結果は地層に變動を來し頗る危険多き状態を中村博士の談其他に依つて立證

一、平田慶吉博士は法理論に基き、中村新太郎博士は科學的立場から、共に地下二千尺以上の深度を採掘すると雖も、必ず地表に影響ありと斷言

一、九州に於ける三井三菱等の被害賠償は可成り完全に近きものありと認むるも、全態的に見る時は炭礦と被害者との間に屢々物議を醸し、賠償問題を中心とする爭議が絶えない。且つ炭礦會社解散後に被害の生じたる場合、何人もその賠償に任じない爲め、被害者は無告の民となつて泣き寝入り外の外はない、此の點に關し法律の不備を痛論

要略して此の三點が重要性を多分に持つて居たと思ふ。

野崎尊兄、此の三要件を腦裡に藏して、一方鑛山監督局側提示に係る調停案を顧みるとき、一、平町の地下は新川より南に向つて七十度の角度以内は採掘せざること、但し平町の地下に排氣、通風、坑道を設くる事は容認

二、古川以北を採掘せざること、但し書右同様

三、從來許可せる通りに

試掘願のみを認め採掘可否の態度決定は今後二ヶ年間保留すること

「採掘同意」であり第三案は「可否決定の保留」である。町會は此の三ヶ條の内何れの案を採らばよきやに迫られた。

調査委員會の報告に依つて、採掘の前途に幾多の危険を豫見するの結果、その腦裡に採掘不安を烙印せしめられた多數の議員が、採掘に對しては「深く考慮の餘地あり」として第一案及び第二案に組せず、第三案の「現状維持」に落ち着くは自然な、而も素直な成り行きである。

從つて萩原議員が「第三案を採る」の動議は大多數を以つて可決され、是れが陳情委員として井上議長の外、佐々木、多田井、猪狩、萩原、吉田(五)の諸君と共に、予もまたその末尾に加つた。

而して萩原氏は動議の説明に際し、委員會の報告を尊重して、此際直ちに採掘同意の基だ不安なる所以を説き、試掘願の有効期限二ヶ年中に、平町は更らに嚴密な調査研究を遂げ、期間満了後に當然來るべき採掘の出願に對する確固不拔の大方針を確立すべきであると説いて居る。

警鐘を打ち

神前に祈願

廿五日の平町

四千八百の有権者を集合

肅正運動の徹底に大童への平町は既記の如く來る廿五日午前九時から縣社子鏡倉神社境内に全市の有権者四千八百八十名の參列を求め嚴肅な肅正祈願式を舉行し終つて青沼町長其の他の講演ある筈だが當日は午前六時と同九時に煙火を打揚げ午前九時の祈願式時間には全市のサイレン及び鐘等を一齊に鳴らして警告する由

各區懇談會

全町の日割決定

既報平町各區長主催の選舉肅正懇談會は左の如く決定した

- △八月廿一日午後七時湯殿山△廿二日午後七時天理教會△同日午後六時五丁目吉田屋△同日午後七時銀治町水天宮社内△廿三日午後七時鎌田熊野神社△同長橋尼子神社△廿四日午後六時材木町訓官院△廿五日午後七時藤田女學校△同午後六時胡摩澤大日堂△同午後七時第二小學校△同北日淡島神

殊更らに特定の人物を擔ぎ出す等は其意を解するに苦しむ、君は佐野博士を權威者と信じたが爲めであるかも知れないが、徒らに疑惑を招く結果となつた事は確かである。果せる哉、君の動議は小數で否決されたのである。(續く)

平町人事

△五丁目 入江孝徳氏三女 文子

△長橋町 阿部正吉氏二男 督二郎

△回死 亡

△長橋町 當時東京市豊島區長仲崎町川澄トク(七六)さん

警城共濟病院 (福島縣平町)

(電話六四一四番)

內科	小兒科	婦產科	外科	皮膚泌尿器病科	X線科	藥物療科
院長 石山謙一郎 (電話六四一四番)	院長 佐藤尚輔 (電話三七〇番)	院長 五十嵐雄二 (電話三七〇番)	院長 大町久藏 (電話三七〇番)	部長 前澤 (電話二七二番)	部長 石山謙一郎	部長 石山謙一郎
副院長 長石山謙一郎	副院長 長石山謙一郎	副院長 長石山謙一郎	副院長 長石山謙一郎	副院長 長石山謙一郎	副院長 長石山謙一郎	副院長 長石山謙一郎
部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎
部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎
部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎	部長 長石山謙一郎

◎病室完備 入院隨意

吉田眼科病院

平野屋町電話六八八番

醫學士 吉田久雄

素晴しい乗心地の三十五年式流線型新車が参りました

是非御試乗御利用の程を御願申します

三井タクシー 電話六八五番

魔の釣橋が墜落

頻死の重傷二名

昨廿日午後五時田人村緑川運輸部の運轉手伊達郡長岡村生澤野勝吉(三三)がトラツノに材木を満載して田人村内鮫川上流の吊橋の中央に差懸つた處橋床が腐朽して居た爲めに、丈餘の崖下に墜落し運轉手は木材の爲め頭部胸部に瀕死の重傷を負ひ同乗せる助手田人村宇黒田煙田義一(三三)も脚部に

警女軍勇躍して

東北豫選に出場

縣下女子中等學校體育大會に優勝した警女陸上競技部は來月上旬福島市警グラウンドで開催の東北豫選宮城、山形、福島に出場のため猛練習を開始した因に同大會の優勝校は神宮大會へ出場資格を得ると

磐中平商が

庭球遠征

北日本大會へ

磐中、平商兩庭球部は來る廿三日より二日間仙臺市に開催の東北學院庭球部主催北日本中等學校庭球選手權大會出場のため廿二日午前八時廿分平驛發列車で出發する同大會は東北庭球界には最も權威ある大會と目されて居り北海道青森新潟

漁港視察

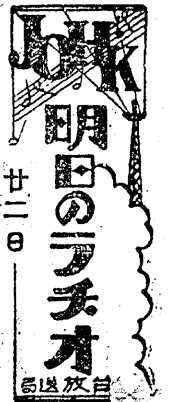
内務省から

内務省土木局藏重技師及び武若事務官の兩氏は本廿一日午後來平小林土木監督所長の案内で小名濱、江名四倉三漁港の工事状況を視察する

イモチ病

稲の心配

石城地方は一週間に亘る降



天 今晩も明日も南西の風天氣良く温度幾分昇る

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
唱歌劇「西瓜とトランプ」
AK 唱歌隊
後七、三〇 趣味講座「江戸町奉行所を語る」原胤昭
後八、〇〇 ラヂオスケッチ「街の聲」JK 放送部編
町會議事堂に全町の養豚家を招き座談會を催すと

勿來養蠶

價格の協定

勿來町の養蠶家は此程發表された特約養蠶實行組合の協定價格が普通市價より安値なので四實行組合がいつれも幹部會を開いて特約取引を解消し各組合獨自に品種の統一、飼育の改善を行ひ生産額は勿來南市場で共同販賣に附する事を申合せ

低鐵棒の講習

縣體育協會主催の低鐵棒講習會は廿二日より三日間平第一小學校並に平商業學校で催されるが講師は本縣體育運動主事千田三省氏並びに東京市淀橋區大久保小學校訓導淺香四郎、石凡午郎氏で體育増進に効果あると云はれる同運動の跳躍、倒立、旋廻等の實演並に講演がある

養豚座談

平町に開く

既報平町は豚傳染病豫防に關し本廿一日午後七時から

語講座 丸山順太郎
前七、〇〇 朝の「二」孟
子講話(三)市村瓊次郎
前七、四一「六年生のお
さらひの時間」(國史)二
八島炳二
前八、四〇 婦人夏期講習
「和服裁縫」安東レイ
前九、〇〇 衛生メモ
前九、〇〇 三〇 家庭講座
「屋外作」西彦太郎
前一一、〇〇 教育特別講
座「新訂高等小學唱歌の
指導」木下保
後一〇、〇〇 五 輕音楽 大阪
ジャズオーケストラ 桃
谷中繼
捜査方を願ひ出た

明日の部

後八、二〇 淡路の夕「歌
謡」レジュウ「淡路連中」
後八、五五 連続ラヂオド
ラマ「己が罪」喜多村綠郎
他
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組預告
後六、三〇 速成フランス
應の丹野主事及び猪狩屬の
兩氏が廿二日來平する

草野趣味指導

草野村小學校は本廿一日より廿五日迄の五日間兒童の趣味指導講習會を開き體育、圖書、書方、手藝等の科目を指導する

妻子と金百圓

栃木縣下都賀郡栃木村字嘉右衛門居住石川ヒロ(三三)は去る十二日家庭の不和から一雄(五)トシ(三)の幼兒を連れ金百圓を拐帶家出したが最近平地方に居る事が判明したとて本日家人から平署に

平町を荒す胡鼠泥

今曉南町の飲食店で捕る

草野村大字北神谷字七曲生れ電工大市嘉平(二)假名は今曉四時頃平町南町飲食店浪花亭方に忍入り家財を物色中家人に発見され駆け付けた平署員に逮捕されたが此の男の所爲ではないかと嚴重取調中

平職業紹介所報告

回 人を求める方
△旅館番頭 尋卒 委細面談
△配達 二十三才 尋卒
月五圓
△出前持 二十才 尋卒
月五十六圓

後六、〇〇 子供の時間
お話「白虎隊」瀧本一鷹
後六、二五 教育者體験談
「盗みする子を持つ優しい心」關根久「母の墓前に改悛する子の姿」菊地昌平
後七、三〇 趣味講演「能面の表情について」金剛巖
後八、〇〇 河東節「秋の霜」山彦米子他
後八、二〇 漫談「講談の種」悟道軒圓玉
後八、四〇 連続ラヂオドラマ「己が罪」二 河合武雄他
△女中 十六才 尋卒 給料頃談
回 職を求むる方
△店員 二十二才 尋卒
△洋服職 四十六才 中二修
△雜役 三十一才 尋卒
△木材店員 四十才 高卒

大和田醫院

平町南町一六
電話一七〇番

安齊科醫院

平町・田町
電話四七五番

市原醫院

平町・田町
電話一一四番

木村病院

平町新川町十九
電話一六四番

木村科醫院

平町六丁目橋際
電話三〇九番



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島征史

第二百五回

異人馬車 (四)

往來へ出た。

おふくの良順は明るい顔にかへり、いそ〜と馬車に近よつた。

「ずい分お待ちなすつたでせう」

車上のボックスを見上げた。

「どこで、用をたしてきましたか？」

「オホ、いやでございませう」

おふくは馬車に乗りボックスと肩をならべて腰かけた。馬車はまた動き出した。大島小僧はそつと馬車のあとをつける。

「ね、だんなさま」

「なんですか」

「もしも、だんなさまが日本人のために殺される様なことがございましたら……」

「英国と日本はいくさになりませうね」

「もちろん」

ボックスは胸を張つて見せた。

「いやでございませう、そんなあつさりしたお返事で……」

「では、どう云ふた……かな」

「あたし、だんなさまに、いつまでもいつまでも生きてゐてもらひたいうござんすわ」

「あなたが、いつまでも若く美しいあひだは死にませぬ」



「でもねえ、誰か不意にこのお馬車におどり込んだりなんかして、だんなさまに危害を加へるやうなことがございませう……あたし……どうしませう」

悲しげに振袖を胸に抱いてみせた。

「いや、よろこんでくだしやい、そのときは大英帝國が日本を属領とするの好機會です、英國東洋艦隊は直に出動して、日本の首府東京に砲火を浴びせかける。……わしはたふとい犠牲者としてながく英國の東亞政略史を飾るでせう」

「……」

おふくは振りかへつた。お馬車のあとをつけてくる大島小僧に、いまのボックスの一言をきかせてやりたかつた。

「左様、來年は開通の運びとなりませう」

夜間診療

胃腸性病性

内科 皮膚科 花柳病科 性病科

専門

院科性病胃腸村松

(平町南町一七〇番)

歯科口腔外科

レントゲン科

院長 東京齒科 醫學士 原 精一

東京齒科 醫學士 柏倉 武男

平町土橋通り 電話三一三番

原齒科醫院

◎最も理想的な相互扶助機關◎

中小商工業者の大福音

融資御希望の方へは

十錢の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します

五分以上の割戻分配を致します

一、社會公共事業及慈善事業への奉仕

二、懇談會併精神修養講話會

三、會員の吉凶慶弔

四、人事百般の相談

五、法律無料の相談

六、診療救恤の補償

七、納税の代納事務取扱

八、勤儉蓄積の奨励

九、小資本の融通

一〇、會員の特典發行

一、會報發行

二、會報發行

三、會報發行

四、會報發行

五、會報發行

六、會報發行

七、會報發行

八、會報發行

九、會報發行

一〇、會報發行

石城中小商工互融會

福島縣平町土橋小路一番地

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木 正男

平町南町(電話五八番)

藤田女學校前

金成醫院

内科 外科 一般

醫學士 金成 忠義

平兼田町(電三五八)